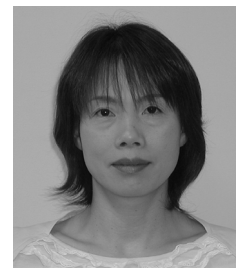


がん患者に対する健康補助食品の利用について

Usefulness of health food supplement for the patients with malignant diseases

川口 美喜子

島根大学医学部附属病院栄養管理室室長



Forty percentages of patients, who were treated by palliative care team of our hospital, used health food supplement before admission, since their family members and relatives recommended it and most of patients felt that the continuous usage of it healed their anxiety. The patients expected the improvement of their stamina, stomatitis, immunological response and taste by taking the supplements served by hospital staff. Therefore, we think that supplement has important role to improve QOL of patient and to heighten the efficacy of medical care, and several kinds of supplements and several forms of supplement are needed for fitting the status of the patient.

At present, 30% of patients, who were treated by palliative care team, take the supplements served by us during hospitalization. These patients want to take the foods and supplements, which fit or improve the status of their diseases. We hope that the foods and supplements served by us satisfy our patients. Therefore, we should devise the menu and cooking methods for fitting individual cases, and appropriate supplements need to be selected.

In this lecture, I hope to present the effective usage of health food supplement to improve nutrition care for the patients with malignant diseases.

緩和医療の栄養療法は、病状によって目的が違ってくる。低栄養に陥っている患者が栄養療法によって栄養状態の維持、改善を見込める時期と生化学的評価による栄養改善が困難で症状緩和を目的とし、全人的なケアを行う時期のサポートが考えられる。患者は病状に応じた栄養治療を受けながら、栄養状態の改善が困難な病状や状態または治療における副作用の発現の中でも、回復を願い食事摂取に向かおうとしている。当院の緩和ケアチームが対応した患者の40%は入院時に健康補助食品を利用していた。その理由は、家族や親戚に薦められ利用している（一部の患者は効果には不安を持ちながらも利用）、継続していると安心するという患者が多かった。病院から栄養治療目的で健康補助食品を提供するとすれば、どのような効果を期待するかという問いに対し、体力の付く食品、口内炎・口腔痛に効く食品、免疫抵抗力をもたらす食品、家族が食べているのを見て安心してくれる食品、味覚を改善する食品などが求められた。当院では、患者のQOLを満たし、患者と医療者の期待に応じた効果を上げることを目標に健康補助食品を提供している。さらに健康補助食品の効果と同等に患者

が嗜好的に経口摂取可能であること、患者が継続して摂取できることを重視して食品の選択を行っている。利用している主な健康補助食品は、高栄養補助食品、微量栄養補助食品、清涼飲料水である。提供の方法は患者の病状や嚥下機能に応じ、市販品を少量に分割してカップに入れて配膳、ゼリー、クラッシュゼリー、氷、クラッシュ氷、ロックにする、あるいは砂糖を加えて味に変化を加えるなど加工することが多い。健康補助食品に対する拒否的なイメージや配膳された食品を多く感じて受け入れが難しい患者は、調理加工を加えることで継続的な摂取が出来る。健康補助食品を継続した患者は食欲の安定や食事摂取量の増加によってエネルギー摂取と栄養素が充足し、口内痛緩和や味覚障害の改善を認めている。

緩和医療対応患者の30%は、当院の提供する食品を継続摂取し幾つかの良好な結果を導いた。患者のがん治療に挑む気力と体力を満たす適切な健康補助食品の選択と健康補助食品の特性を生かした献立・調理方法を考案することも今後の課題としている。

今回は、栄養治療における効果的な健康補助食品の利用について提案したいと考える。